

地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

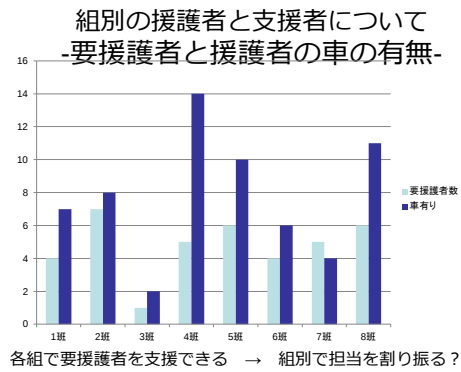
所属 地域圏防災・減災研究センター
氏名 畑中 重光

活動テーマ	地域コミュニティを主とした安否確認による複数拠点での安心・安全なまちづくり
実施期間	平成25年 4月 1日 ～ 平成26年 3月 31日
活動内容	地域の持続的な発展と防災力の向上を促し、安心して安全なまちづくりを目指して、情報システムの利用やハザードマップ作り等により、地域に根ざした研究活動を実施してきた。 2013年度は、本事業として5年目にあたる。本年度は助成金を伴わないが事業の認定を受け、本学地域圏防災・減災研究センターの中世古地域防災コーディネーターが中心となって、引き続き三重県大紀町野原区で活動を実施した。活動目的は、以下のとおりである。 ・被災時における住民の安否確認を主な目的に導入している情報システムを有効利用すること。 ・そのシステムが平常時のイベント等に着実に根付くようにすること。 今年度は、そのシステムの住民情報の更新が、住民によりスムーズに行えるように指導と研究を重ねた。   イベント参加確認 野原東作さんと藤まつりに出店 2013年度の主な活動要点を以下に述べる。 ・ <u>安否確認方法の拡充及び更新</u> 野原区では、本研究グループと共同作成した安否確認用のQRコード付き野原元気カードを全住民が保持し、日常時にも使用を試みている。昨年度からは、この安否確認用カードを地域で簡単に作成して、即時発行できる環境を開発してきた。今年度は、新住民の方々へのカードの発行と共に、今年度変更になった登録住民の家族構成等の更新の指導を行った。

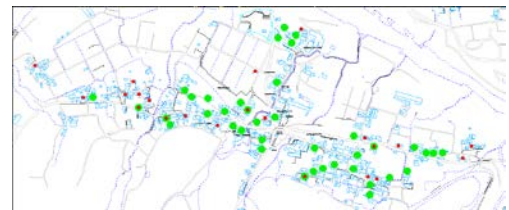
また今年度は、要援護者の問題にも取り組み、地域の方々と共にこの
安否確認システムの利用を検討した。



野原元気カード
の一例（左）



災害時要援護者と支援者の分布・1



- 赤の丸: 援護者
- 緑の丸: 支援者

資料 2 （左）：要援護者と支援者の調査結果
（右）：地図に表示したもの